

るところでないと言つた。妻は小戻りして、裏口から出やうとすると、そこからも出てはならぬと、眞顔に言ふので、妻は當惑して、それでは何處から行つて、宜しう御座いますと、夫の顔を眺めて言へば、いや何處からも、お前が出る門はない。一生此の家から出てはならぬと言つて、將さに覆らんとする水を、止めたといふことである。

何と面白い話ではないか。それは夫に未練があつて、眞に離縁する意でなかつた爲めかも知れないが、今、離縁されて行く間に、化粧してしとやかに挨拶するといふのは、心掛けのよいものでなければ、ちよつと出来ないことである。

或る人の妻が、離縁に逢ふて、其の家を出るときに、悲しみの餘り、一句を書き遺して、出て行つた。それは、

すれ／＼の中に花咲く木賊かな

といふので、夫は之れに感じ、ああ、己が悪かつたと後悔して、今一度歸つて来て、貰らうやうにと、直ぐに其の後を追はせて連れ歸り、以前に増して、夫婦仲が睦しくなつたといふことである。

これは歌の徳かも知れないが、一體に夫婦の情合といふものは、慙うしたものであるから、何でも優しい心掛が必要である。

## 結 び

節操は如何に之れる守るべきか、又、節操に對する國民の概念は、如何に之れを養成すべきか、特に思慮未だ定まらず、是非分別のよく熟せざる處女に對しては、如何に之れを誘導すべきか等の問題に就き、尙、幾多の頁を費やさなくてはならぬが、紙數に限りある此の小冊子に於いては、遺憾ながら筆を擱いて、茲に之れを結論することにした。

貞操を論ずるには、生理上と新道德上との、二方面から觀なくてはならぬ。單に生理上から觀ると、ワルドスタイン及びエーケレル兩氏の唱道した、性交反應の理に依つて、性交すると女子の體中に、精子より來たる一種の醱酵素が、生ずるので一度結婚した者は、再婚が出来なくなるし、私に破操した處女は、世に出られなく

なつて了うのであるが、新道徳の上から観ると、節操には處女の節操と、妻となつた時の節操と、二様に別かつことが出来るので、餘儀なき事情の下に、離縁となつた者は、再婚も再々婚も、差し支へがないし、さうしたからとて、徳を破り、道に背くこともないのである。

是れに關し、昔の貞女兩夫に見えずといつたのは、生理上に暗合して居る。其の時代の女は、夫家を墓場と定めて、縱令ひ一月半月の夫婦であつても、未亡人となつて亡夫を守つたのである。よく舅姑に仕へたものである。著者の妻の祖母が、二十二歳の時に、夫に死に別かれたが、其の儘未亡人となつて、よく貞操を守り、而かも九十餘歳まで長命した。尤もこれには一人の男兒があつたが、何をいふも二十そこらであるので、實家からは再婚を迫られ、周圍からは種々の誘惑が來て、危いこともあつたさうであるが、堅忍能く其の身を完うしたのは、實に見上げた婦人である。

これは舊道徳の女大學に鍛へ上げられた婦徳で、今日の世でも婦人はすべて、恣ういふやうに、貞操を守らなくてはならないかといふに、一人でも子のあつた場合は別にして、子の無いときには、必らず履み止まつて、飽くまでも亡夫に仕へなくてはならぬといふ理由は、認められぬ。

勿論、一旦嫁した上は、其の家を死場所とする覺悟で、居らなくてはならぬが、事情に依つては再婚を不可としない。昔の人が兩夫に見えざる婦を、貞女としたのは酷で、生理上はソルドスタイン及びエーケル兩氏の説に、合つて居るけれども社會政策の上から、必らずしもさうまでする必要はあるまいと思ふ。

婦人が夫の死後、飽くまでも貞操を守らなくてはならぬ場合は、第一に子のあつたときと、第二に妻が夫に代つて働かなければ、老舅姑等の生活が、出來ないといふ様な、悲惨な場合で、恣ういふ場合には、踏み止まつて、其の老養親を扶助して行かねばならぬ。

之れに反して前者の如く、子のあるところを無理に暇を取つて、自分獨り他へ再婚するといふのは、親子の情がない許りでなく、亡夫及び其の親を、侮蔑したもので、これこそ眞に敗徳と謂はねばならぬ。後者も人情に背馳するもので、決して賞すべきことでない。孰れにしても、斯かる場合には、不運と諦らめて、一身を犠牲に、未亡人で終らなくてはならぬ。

併し年が若く、而かも子のないときは、前にも言ふ通り、必らずさうするに及ばないから、適宜再婚して差し支へがない。勿論、恚ういふ場合には、親なり又は親戚なりからして、穩かな相談があるに違ひないから、其の時は詰らない義理や、人情立てをしないで、斷然一身の處決をするがよい。恚ういふときに別かれる方は、兩方の爲めである。

諺に、戒名の赤い信女孕み出し、といふことがある。これは夫に別かれたときは悲しい一方で、生涯尼になる考へで、堅く決心を示しても、時が去つて淋しくなれ

ば、心の籠が弛んで来て、種々に動き出し、遂には身を誤ることが多くあるからである。況して最初から確乎たる信念も、理想もなく、單に世間の手前を思ふて、虚榮的に止まつて居るやうなものは、早晚狂ひを來たして、問題を惹き起こすことがある。

元來、婦人は、貞操を守らなくてはならない様に、其の身が出来て居るのであるが、意志の薄弱な、或ひは婦徳の缺けて居る者は、そんなことを思はないで、褻を重ねることがある。況して未亡人となつて、主がなくなれば、憚るところなく、振る舞つて赤い信女の孕み出すやうにもなるのである。

之れを要するに節操は、時代と場合とに依つて、變するもので、一定不變のものでない以上、再嫁するを妨げぬが、併し其の再嫁は、合理的であらねばならぬ。それで其の再嫁すべきときに再嫁するのは、差し支へないとして、若し再嫁すべからざる

ときに、再嫁（茲では野合を意味す）するならば、それは飽くまでも指彈せねばならぬ。其の不貞敗操を責めねばならぬ。

處女は、處女時代にさういふ問題はないけれども、早晚際會することであるから豫め考慮して置くことが必要である。

前嫁の處女の爲めに 『大尾』

大正八年十二月卅日印刷  
大正九年一月廿日發行

性的叢書第一編  
前嫁の處女の爲めに  
定價金一圓二十錢

不許複製

著者	澤田順次郎
發行者	石渡萩枝
印刷者	大杉直次郎
印刷所	大杉活版印刷所

東京市神田區中猿樂町十七番地  
東京市神田區中猿樂町十七番地  
東京市神田區中猿樂町十七番地

發行所  
發賣元  
賣捌所

東京市神田區中猿樂町十七番地  
振替東京四七七九三番  
東京市神田區小川町一番地  
振替東京二九一五一番

天下堂書房  
甲寅出版社

【東京】東京堂、上田屋、北隆館、東海堂、至誠堂、誠文堂、其他全  
【大阪】盛文館  
【京都】東枝書房  
【名古屋】星野書店、國書店

東京市神田小川町一丁目番地

# 甲寅出版發行書目

電話神田三〇九七番振替東京二九一五番

正則タイピスト學校編

詳れる英語發音之原理

正則タイピスト學校長秋元正四先生著

タイプライター教科書

正則タイピスト學校長秋元正四先生監修

模範商業簿記講義

商工中學校講師伊藤義一先生述

模範商業簿記講義

商工中學校講師伊藤義一先生述

邦文英文簿記講義

定價郵稅共

金廿五錢

增訂四六倍版總布製紙質頗上約百頁  
實價壹圓八十五錢  
郵稅十二錢

菊判五百卅頁總少  
ロス金文字入  
實價金參圓廿五錢  
郵稅金拾貳錢

菊判參百四拾頁總  
クロス金文字入  
實價金二圓  
郵稅金拾貳錢

菊判二百餘頁總少  
ロス金文字入  
實價金貳圓  
郵稅金八錢

性慾學大家澤田順次郎先生著

四六判總布製 箱入約四百頁 實價一圓九十五錢

送料六錢

性慾に  
關して

# 青年男女に答ふる書

【注意】 本書は發賣元へ御注文ニナレバ拾年後デ同價デ賣升

## 目次

【第一】 性慾の概念及び性的知識を普及することの必要(一)青年よりの書簡

- (1) 色情亢進に就いて(2) 生殖器病に就いて(3) 結婚に就いて(二) 誤れる性的思想なる性的知識(1) 如何なる性的知識を鼓吹すべきか(2) 性的知識と健康(3) 性的知識と自瀆の豫防(4) 性的知識と花柳病の豫防(5) 性的知識と生存競争(四) 性酵素と性慾(1) 性酵素とは何んなもの(2) 性酵素と發情期との關係(3) 性酵素の二作用(五) 發情期の危險なる原因及び之れに對する警戒(1) 精神の變化(2) 感情の激變(3) 空想と虛榮【第二】 性交の攝理(一) ワルドスタイン及びエークレル兩氏の性交反應(1) 處女と非處女との識別(2) 動物試驗(3) 姦通の鑑定(二) 性交より來る身體的及精神的變化(1) 身體上の變化(2) 精神上的の變化(3) 其例(三) 生殖作用に必要な條件(1) 健康なること(2) 遺傳病及遺傳素質を有せざること(3)

生殖器の健全なること(4) 年齡甚しく懸隔せざること(5) 近親間ならざること(6) 正當なる結婚なること(四) 絶對に排斥すべき禁條(1) 自瀆(2) 不正なる性交(3) 其他不自然なる性的行爲【第三】 性慾と疾病(一) 神經衰弱(1) 原因(2) 症狀(3) 療法(二) 陰萎(三) 遺精(四) 早漏(五) 子宮病(六) 腔加答兒(七) 墮瘻(八) 梅毒(九) 軟性下疳(十) 淋疾【第四】 結婚の適否(一) 結婚は遊戯に非ず(1) 將來を考へよ(2) 遠計がなければ後悔がある(二) 何時結婚すべきか(1) 早婚(2) 晩婚(3) 適當なる結婚年齡【第五】 性慾に對する警戒及自覺的抑制法(一) 如に性慾を導くべきか(1) 家庭に於ける誘導法(2) 學校に於ける誘導法(二) 恐るべき自瀆及び其防遏(1) 悲惨なる實例(2) 自瀆より來る疾患(3) 男子に於ける害毒(4) 女子に於ける害毒(5) 豫防及禁遏法(三) 男子過房の花害及び其防遏(1) 男子過房の身體に及ぼす害(2) 男子過房の精神に及ぼす影響(3) 節制法(四) 女子過房の花害及び其防遏(1) 女子過房の身體に及ぼす害(2) 女子過房の精神に及ぼす影響(3) 節制法(五) 飲酒と性慾との關係(1) 酒の亢奮性(2) 酒と敗德(3) 禁酒法●結論

發行所  
發賣元

東京神田中猿樂町十七  
振替東京四七七九三番  
東京市神田區小川町一  
振替東京二九一五一番

天下堂書房  
甲寅出版社

東京市長子爵法學博士田尻稻次郎閣下題字  
 子爵土岐章閣下序 日本食料研究會編  
 〔三六版三百餘頁〕  
 〔印刷實費七十五錢〕  
 〔送料六錢〕

經濟代用食調理法

米價の狂騰實に底知れぬ今日如何にせば最も巧妙に生活出來ようか？ 他なし米代用食を實行するに於て、既に供給に限あつて需要の増大極りない現今、食糧問題を解決するには唯節米の一途のみ、儉約は客齋ではない。一家現在の支出を不滿ながら止むななく黙認して居るのは愚の極、現在の支出を三割乃至五割減にして其剩餘をば有効に使用せねば結局の勝利は得られぬ。現在代用食の實行は國民生活に最も安價經濟ならしめる最上の方法である。不祥な事件は民心の不安に發し、民心の不安は生活の不安に起因す、家を思ひ國を念ふ士は是非代用食を實行せられよ、本會は代用食調理法を鋭意研究し其完全なるものを纏め國家の爲め公表。一般の獎勵普及を目的とし、遍く頒布せんがため茲に實費を以て提供す、江湖の諸士希くば購求一讀あらん事を。

發行所 東京神田中猿樂町十七番 振替東京四七七九三番 天下堂書房  
 東京市神田區小川町一 振替東京二九一五一番 甲寅出版社

齊藤金著 鷲作

忽七版 探偵秘史 トマ事件

四六版上製 美極本 二百八十餘頁 定價 金壹圓廿五錢 送料 六錢

最近突如として起り天下を震撼せしめたる彼のトランク事件を骨子として著者金鷲氏が熱狂的執筆慾にかられて描き出さる一編の探偵小説。その痛快にして興趣の盡きざるは勿論、筆若しそれ、諸士にして一度此の書を繙かんか、眞に神出鬼沒的腕を有する名探偵の勇敢なる活動振りには、思はず諸士をして恍惚たらしめざるを配して、凄愴なる全編を彩る。況や、腕を以てし更に波瀾の全紙二百餘頁を以てして、尚飽足らざる速の間に一巻を求めよ。さらば諸士の面前には、不可思議なる探偵秘史觀あるをや。

發行所 東京神田中猿樂町拾七番 振替東京四七七九三番 天下堂書房  
 東京市神田區小川町一 振替東京二九一五一番 甲寅出版社

◎本書ハ大正三年初版發行後久シク品切鴻湖ノ需要ニ脊ムコト多年今回著者ノ許諾ヲ得テ再版五千部ヲ印刷ス賣切トナラザル内ニ至急ニ御注文ヲ乞フ

醫學博士 男爵 佐藤進閣下題辭  
 秋元婦人病院長 秋元洗二先生著

〔內容見本往復端  
 書ニテ申込アレ〕

# 婦人性學

菊判五百二十餘頁  
 定價參圓五拾錢  
 總布上製箱入  
 郵稅十二錢

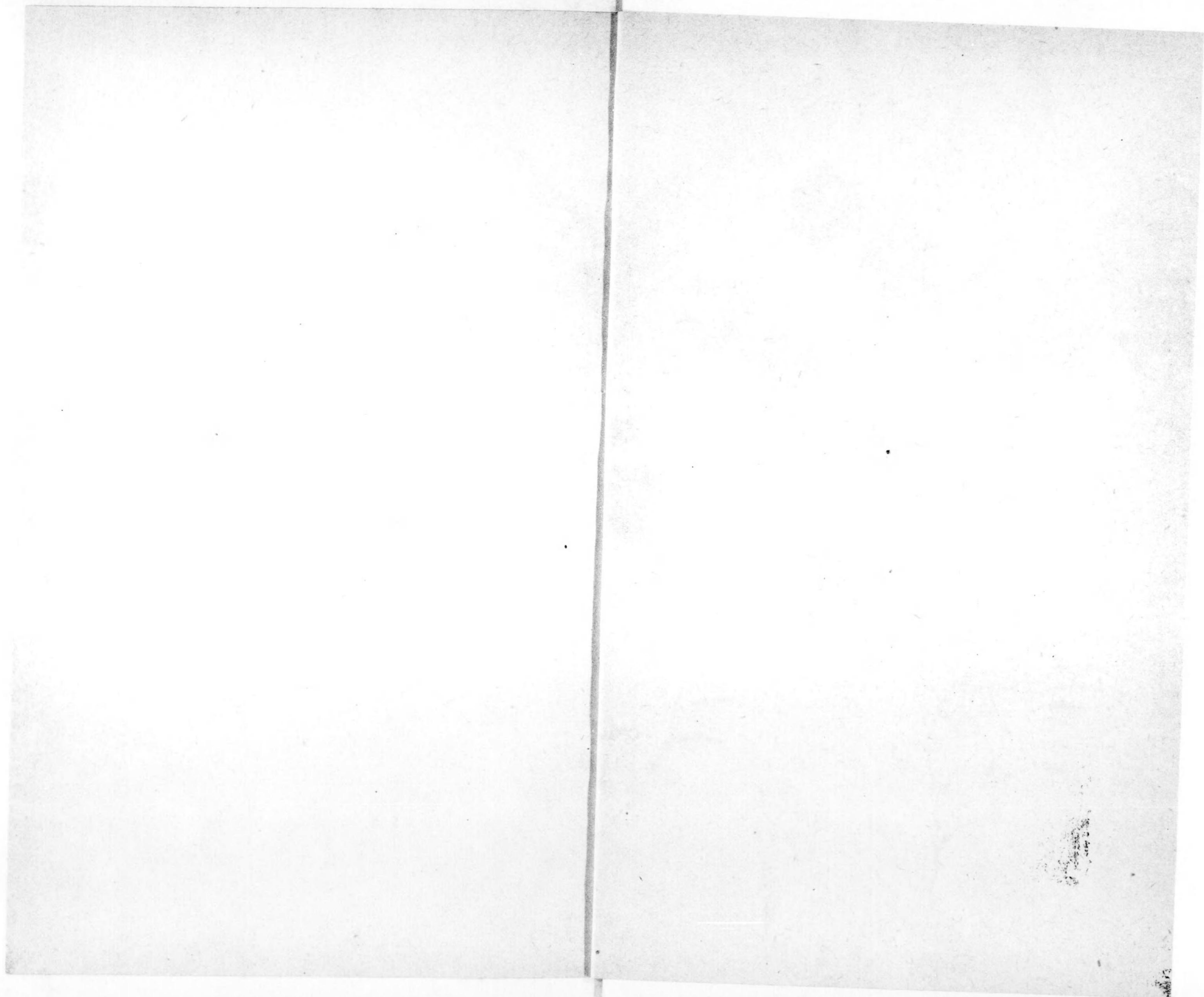
本書ハ婦人科醫トシテ令名アル著者ガ半生ノ心血ヲ注ギテ成レル結晶ニシテ婦人ノ性慾問題ヲ科學的ニ詳説セルモノ説ク所多ク著者獨創ノ見解ト多年實地ノ經驗ヨリ成レル金玉ノ文字ニシテ醫家教育家ノ好參考タルノミナラズ亦一般家庭ニ缺ク可ラザル好著ニシテ全國高等女學校ヨリ續々注文アルニ徴シテモ彼ノ淫史ノ類ト根本的ニ其撰ヲ異ニスルヲ知ルベシ尙詳細ハ目次及內容見本ニ付テ見ラルベシ

發行所  
 發賣元

振替東京西大久保二九四番地  
 振替東京四五二二七番地  
 振替東京神田區小川町一番地  
 振替東京二九一五一番地

秋元婦人科病院出版部  
 甲寅出版社  
 電話神田三〇九七番





1179  
1180



終

